

シベリヤ物語 (1947)

SKAZANIE O ZEMLE SIBIRSKOI
A TALE OF SIBERIA

メディア 映画
ジャンル ドラマ ミュージカル
製作国 ソ連
色彩 B&W
時間 100分
初公開日 1948/11/26
公開情報 日ソ映画＝東宝
リバイバル 1977/11 [東映洋画]

【解説】

「石の花」(46)に続く、ソ連2本目のカラー長編映画で、ロシア民謡など随所に歌曲を取り入れ、雄大な自然を舞台にしたメロドラマとなっている。第二次大戦ベルリン攻撃の際、手を負傷してピアニスト生命を断たれた青年は、かつての恋人でソプラノ歌手のいるモスクワを去る。失意のうちに戻った故郷シベリヤの大地で彼は、ナチスドイツに打ち勝ち、さらなる社会主義建設の気運に燃え労働に励む人々の素朴な歌声にふれ、やがて作曲家としてオラトリオ『シベリヤ大地の物語』（映画の原題）を発表、見事に恋人と結ばれる。プロパガンダ映画と言うよりも、登場人物の表情は社会主義の未来を信じて戦後復興に燃える健全な精神に満ちていて、全く嫌みは感じられない。オリジナルは1時間57分だが、その後66年にモスフィルムは1時間43分の再上映版を製作している。

【クレジット】

監督	イワン・パイリエフ	Ivan Pyrev
脚本	エフゲニー・ポメスチフ	Yevgeni Pomeschchikov
	イワン・パイリエフ	Ivan Pyrev
	ニコライ・ロシコフ	Nikolai Rozhkov
撮影	ワレンチン・バヴロフ	Valentin Pavlov
音楽	ウラディミール・クリュコフ	Vladimir Kryukov
	ニコライ・クリューコフ	Nikolai Kryukov
出演	ウラジミール・ドルージニコフ	Vladimir Druzhnikov
	マリア・ラドイーニナ	
	ボリス・アンドレーエフ	Boris Andreyev
	ヴェラ・ワシーリエワ	
	ウラディミール・ゼルディン	